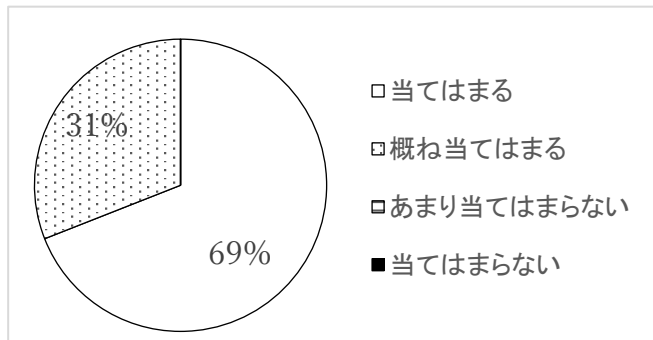
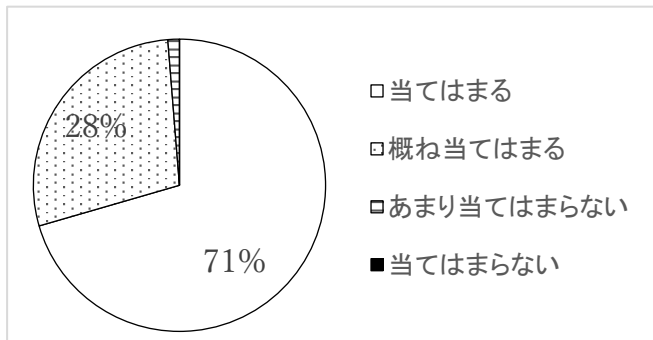


1. 分科会は課題解決に向けて参考になるものでしたか？

2. ブレイクアウトルームでの協議は有意義でしたか？



《分科会についてのご意見・ご感想》 ●課題

○県によって職員の年齢構成が異なることや特色ある教育実践を学べたこと、そして何より教頭として学校全体をみている先輩方のお考えを学べたことがとても有意義でした。

○コロナ禍のご時世、他の教頭と情報のやり取りがなかなかできない状況の中、オンラインではありますが、他の自治体で活躍されている教頭先生方と顔を見合わせて情報交換ができてよかったです。

○ブレイクアウトルームでは、北は北海道、南は鹿児島まで、職場にいながら様々な意見交換ができて有意義でした。特に地域が違っても、教頭職としての課題や悩んでいることがだいたい同じであることが分かりました。大規模校と小規模校と学校規模によって課題が似ていることから、両方の意見が聞けてよかったです。県内の教頭会はまだ実施していませんが、今回のようなテーマに基づく意見交換・情報交換ができるとよいと思いました。

○全国の教頭先生、副校長先生と直接話をする事ができたことはとても有意義でした。話し合いをコーディネートしていただいた佐賀県の先生には大変感謝しています。有り難うございました。1点、感想として、ブレイクアウトルームでどんなことを焦点にして話し合うかを事前に分かっていたら、資料等準備ができたと思いました。

○学校、校種は違っても、共通する問題意識や課題意識をもっていること、しかし、自分が知らない、試したことのない様々な手立てがあることを知ることができました。提言者の皆様、そして、提言内容に関わられた全ての先生方大変お疲れさまでした。大会運営にあたられた皆様大変お疲れ様でした。皆さんと同時刻に同じ立場で仕事をすることができたことを幸せに思います。

○全国の教頭先生方と交流させて頂き、同じ思いを持っていることを知るとともに、新たな気付きを頂き大変感謝しております。このような機会を持たせて頂きました全公教、佐賀大会を支えて頂きました佐賀県の教頭先生方に厚く御礼を申し上げます。オンラインでの初の試みも大成功だったのではないかと思います。本当にご苦労様でした。

○分科会の先生方は小学校・中学校と校種が違いましたが、課題となることや取り組もうとしていることなどがよく似ていてお話を聞いているととても参考になりました。若手やベテランを上手に生かす、学校を回していくのは教頭の役目だということを改めて思い知るととても良い機会でしたし、身の引きしめる思いでした。声が聞きづらいことがあり少し残念でした。記録等が、資料としていただけたらと思いました。

○発表者の先生の取組は、随所に参考となる言葉があり、尚且つ、明日からの勤務に対して、勇気を与えてくださいました。また、ブレイクアウトルームでの全国の先生方との協議は、大変刺激を受けるものであり、明日からまた精進していこうという気持ちになりました。Zoomという新しい試みをしてくださった大会関係者の先生方、きっと大変だったことと存じます。有り難うございました。

○地域は違えども抱えている課題は似通っているなあと感じ、少しほっとした。Zoomで意見を述べるのは、まとまりがないまま孤独な時間が経過していくような感じで難しかった。

●ブレイクアウトルームでは、提言内容を協議するというよりは各校の取組状況を発表する内容が多かった気がします。オンラインだと全員表情を同時に見ることができないため、協議会には少し向かないのかなという気がしました。来年度は今まで通り開催できるようになるといいですね。

●協議の柱に沿って話を進めてきたつもりでしたが、取り組みについての質問や教頭の現状の共有などにも話が向いてしまいました。ただ、他県の教頭先生方の想いなどを聴くことができたことは、有意義だったと思います。大変お疲れ様でした。

●次年度以降、分科会は午前で終えてよいかなと思いました。同じ分科会ですので、提言は変わっても、話題はある程度同じ方向に行ってしまうためです。2日目は昼で終了する日程について、次年度に向けてご検討いただければ幸いです。司会の方、佐賀県の皆様、本当にお疲れさまでした。